

# NPO 自立支援センター ふるさとの会

2008.1.24  
【第1号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENT etc

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

## INDEX

- ① 年頭に当たって ふるさとの会よりのメッセージ
- ② ふるさとの会『越年冬まつり2008』のお礼とご報告
- ③ 全体研修レポート「司法福祉論について」
- ④ NPOメッセin関西 参加報告
- ⑤ ふるさとの会新年会のご案内
- ⑥ 今月のボランティア募集

## ① 年頭に当たって ふるさとの会よりのメッセージ

メルマガ読者の皆さん、本年最初の配信号であるこの場をお借りして、新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、ふるさとの会では本年からCDC事業を立ち上げます。聴きなれない言葉かもしれませんが、地域の中で安心して暮らせるように、多様な自立を支援するための居住支援から社会サービスの提供までの事業です。そのために様々な事業を展開していきます。

ひとつは「生活再建・再犯防止相談事業」です。

刑務所を出所し、その後のアフターケアがないためにホームレスになってしまう方々からの相談を何度も受けてきました。高齢受刑者や心身に障害のある方々が司法と福祉の狭間で、そのどちらからも支援を受けられず、再び犯罪を繰り返す、もしくは路上生活に追いやられる悪循環があります。こうした状況に対応するため「生活再建相談センター」(仮称)を4月1日に立ち上げる予定です。この相談事業を通じて相談者を適切な社会資源に繋げ、安定した地域生活が実現できるように支援してゆきたいと思ひます。

ふたつは、若年層への就労支援です。

かつての山谷日雇い労働者は高齢化し、いまは住みなれたこの地域で適切な介護サービスや福祉施策を活用しながら安定し安心した生活が送れるように、これまでに自立援助ホームの設置やヘルパーステーションの設置を進めてきました。

現在、介護スタッフの圧倒的な人員不足が顕在化しています。一方で、あらたなホームレス問題が生まれつつあると考えています。ワーキングプアと言われる層です。ネットカフェ難民等、若年で住居を喪失したホームレス予備軍。また、DV被害者など女性や母子世帯への支援も十分なものではありません。若者の就労支援を目的とした低家賃での住居の提供を伴う福祉関連産業への就業支援を積極的に進めると同時に、保護を必要とする単身女性や母子世帯などを対象とした「就労支援型の自立援助ホーム」を計画しています。

身寄りのない単身高齢者への住居保障を自立援助ホームが担い、介護などのサービス提供を若年者の就労支援とリンクさせ、職業訓練と雇用の受け皿づくりを進めてゆきたい。

それこそが私たちふるさとの会がミッションに掲げる『地域の中で、安定した住居を確保し、安心した生活を実現し、社会のなかで、再び役割や人としての尊厳・居場所を回復する』ことになると信じます。

療養型病床の削減とともに退院促進が本格化し、わたしたちの運営施設には毎日のように入所の問い合わせが入ります。退院後の帰来先を確保できない高齢者の増加と顕在化はもはや看過できない切迫した事態になりつつあることをひしひしと感じます。

あらたに見えてきた社会的課題へ、引き続き果敢に取り組んでゆきたいと考えています。本年もご支援のほどよろしくお願いいたします。

(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 代表理事 水田恵)



## ② ふるさとの会『越年冬まつり2008』のお礼とご報告

今年も、2007～2008年の年末年始にかけ、ふるさとの会の「越年冬祭り」を開催しました。期間は例年どおり、12月29日から翌年1月3日まで。今回は、28日の準備の日からボランティアの方が参加してくださり、音響機材の移動・隅田川沿いで炊き出しの宣伝チラシ配布まで手伝っていただき、おおいに助かりました。

毎回、越年が近づく度に不安になるのが、今回はどれだけのボランティアの方が参加して下さるか、という点ですが、Eメール

ルやDMで参加のお誘いや、カンパのお願いをした方以外からも「HPを見ました」「メールマガジンを見て」と、参加の申し出をいただき、職員参加を合わせて、連日十数名の参加のもと、無事、運営・終了することができました。ありがとうございました。

12月29日から翌年1月3日までの日常の基本的な活動は、山谷地域に住み、60歳以上の方で城北労働・福祉センター分館敬老室に利用登録をしている利用者の方々への昼食提供、他方で隅田川沿い・山谷の各所に野宿している路上生活者の方々への炊き出しの配食です。職安などの公共機関が閉まる年末年始は高齢者就労の斡旋も途絶え、良くて月に3~4度回ってくる清掃などの仕事もなくなります。貯えもなく、わずかなお金も持ち合わせていない山谷の高齢者の方々に温かい食事を提供し、この年末年始の厳しい期間を乗り切ってもらおうというのがこの越年事業の目的です。

朝8:30にボランティア・職員が集合し、簡単なミーティングのあと作業を開始。12:00頃、敬老室利用者50~60名に昼食を提供した後、休憩・昼食をはさんで13:30頃、隅田川の河原にて炊き出しをしました。今回も連日150人を越える列ができ、1月3日の最終日の配食数は350食を超えました。メニューも一昔に比べ、定番のカレーライス以外にも、親子丼・開化丼・牛丼など豊富になり、食べ終えた人の多くが「美味かったよ、ありがとう」と、声を掛けながら、空になったどんぶりや箸をボランティアが拵げたゴミ袋に入れてくれました。元気にこの冬を乗り切ってもらいたいと思います。15:00頃、鍋・釜等の食器洗い・片付けを済ませたあと簡単なミーティングを行い、16:00頃には解散しました。

この基本的活動以外に、大晦日の敬老室でのミニコンサート、敬老室での年越しそばの提供、最終日1月3日のなぎさ寮での演芸イベントがありました。大晦日には16:00から敬老室で、毎年参加して下さるポヤポヤバンドの演奏、そして今回初参加の女性歌手である航さんの「ザ・歌謡曲」といった感じの、誰もが知っている歌での出演がありました。中でも、美空ひばりの「川の流れのように」では、涙する人もいました。コンサートが終わって年越しそばを提供。柚子の刻みをちりばめ、サッパリとしたおいしいそばと評判でした。

最終日の1月3日は大田区の緊急一時避難施設「なぎさ寮」への訪問イベントを行いました。ここでは例年出演していただいている「東京善意銀行友の会」の方々の演芸、大晦日にも来てくださったポヤポヤバンドの演奏が繰り広げられました。軽妙な漫談・ちょっとユーモラスな日本舞踊・プロ芸人の方の寅さんの物真似・そして恒例のバナナの叩き売りと続きました。バナナの叩き売りでは「買った！」の声が去年より多く出ており、後半はポヤポヤバンドの演奏、じっくりと30分ほど演奏していただきました。終わってからバンドリーダーに「今の曲、楽譜ない？」と聞いてくる人もいました。なぎさ寮には、毎年東京都のあちこちから路上生活者の方が集まってきます。年末から年始までの短い期間ですが、こうした訪問が、少しでもここに集まる人達への元気づけになれば、と願っています。1月3日、12:00になぎさ寮でのイベントを終え、山谷に帰り、隅田川沿いで配食を終えて今回の越年冬祭りも無事終了いたしました。ご協力、ありがとうございました。

(馬場英夫)



炊き出しの達人お二人のもと全員一丸！  
ボランティアサークルの熱意を感じる越年祭りです！



今日が初めての越年参加でも大丈夫!あざやかな手さばきとフットワークの軽さを見よ!



本ものの寅さんに会ったみたい!



“なぎさ寮”でのコンサートは立ち見の中、満員御礼!

皆さんの顔はほころびます

### ③ 全体研修レポート「司法福祉論について」

現在ふるさとの会では、身寄りがなく山谷を帰住先として戻って来た「触法障害者」へ支援サービスを提供することで、路上生活状態、あるいは再犯を防ぐことを目的とした新規事業を計画しております。この一環で昨年12月8日の全体研修には北澤先生をお招きして、「司法福祉」について講演していただきました。

講演は先生の著書『司法福祉論』をテキストに、実際に保護監察官を経験された先生ご自身のエピソードなども披露いただきながら行われました。

司法福祉についての基本的輪郭についての説明や、少年法をめぐる問題が主に取り上げられましたが、このうち「司法福祉のほうむしろ社会福祉の源流を構成する」とのお話は特に印象に残りました。「社会福祉の発達の初期が犯罪者の処遇の改善、その中でも少年を分離して、何とか処遇しようとする努力に始まっている」とのことです。日頃の我々の働くことが歴史のどう云った部分と繋がっているのかが認識でき、さらには今後いかなる方向へ向かって行くのかを考えさせられるものでした。

このようにこの講演では、司法福祉についての背景的知識を得ることができると同時に、ふるさとの会が既にかかわっている社会福祉の分野についても考えさせられる内容でした。このことは大きく我々のミッション達成に資するものであったと思います。

(辻 真)



### ④ NPOメッセin関西 参加報告

ふるさとの会企画室では、現在NPOバンクの方々为主催する日本版CDFI研究会に参加して、NPOや非営利事業者へ資金を供給する非営利金融の制度をつくることに協力をしています。

ふるさとの会は、今後の事業展開としてCDC(コミュニティベースド ディベロップメント コーポレーション)をいくつかの地域で計画中です。生活困窮状況にある方や障害を持つ方々へ、多様な自立を可能にするための居住支援や社会サービスを提供する事業を行うには多額の資金が必要となり、寄付や自己資金だけではなく、市民の「意志あるお金」を有効に使うプロジェクト・ファイナンスの仕組みが必要です。

全国各地のNPO法人も同じく言えることですが、事業継続あるいは拡大する際、最も頭を悩ませるのが資金調達の問題ですが、金融機関や信用保証協会はまだまだ歴史の浅いNPO法人への融資には積極的ではありません。

そこで、12月1日～4日に開催された「NPOメッセin関西」日本NPOセンター、近畿労働金庫共催で社会的企業として名高いバングラディッシュのグラミン銀行副総支配人の講演「社会的金融フォーラム」に参加してきました。

グラミン銀行が始めようとしたビジネスモデルは、当初バングラディッシュ政府や各国NGOからの評価は低く、貧困地域、特に営利企業が投資をしない地域に無担保融資などをして本当に返済が可能なのかという不安が口ぐちに言われたそうです。この不安をグラミン銀行は逆手に取りました。貸し付ける側も借りる側もこの不安を抱えている限り、お互いがその不安を解消するため、銀行側も事業アドバイスなどきめ細かなサービスを提供し、借りる側も事業に真剣に取り組むことになるとからと設立者でノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏は、これを安心材料として受け止めました。結果、この共同作業がデフォルト率を下げている要因になっている。

さらに融資を受ける人は貧困地域でさらに社会的地位が低い(イスラム圏)女性に限定することで、社会のお金の流れを根底から変えることにした。女性をお金の流れのキーパーソンにすることで、家族や地域での社会的地位が相対的に高くなり、社会そのものが少しずつ変わり始めていることが説明されました。

CDC展開の核は、要保護の方に対して、居住サポートや社会サービスなどの提供やコーディネートをすることで福祉関連産業を興し、地域の雇用や購買力を高め、まちづくりや地域再生に貢献をする。そして地域内で回転したお金が税金となって、再び国や自治体へ還流される。こういったお金の流れを掴み、社会的排除や貧困、格差社会などの問題を具体的な事業を通じて、解決することが可能であると考えています。

今後いろいろなシンポジウムなどに参加して、CDC展開に生かせるような事例を学んでいきたいと思ひます。

(秋山雅彦)



NPOメッセin関西2007実行委員会提供

### ⑤ ふるさとの会新年会のご案内

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、私共ふるさとの会に対しまして、多大なるご支援、ご鞭撻を賜りましたことを心より感謝申し上げます。年末年始と行ないました越年冬祭りも無事成功と相成りました。

今年も更なるご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、毎年恒例となっておりますふるさとの会の新年会を本年度も行ないたいと思います。

つきましては、新年のご挨拶としまして、下記のとおりお食事の席をご用意させていただきました。ご多忙とは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時：平成20年2月10日（日）

時間：午後1時30分～ 記念講演会（財）城北労働・福祉センター 池田幹夫氏

午後3時30分～5時 新年懇親会

場所：NPOふるさとの会本部3階 研修ルーム

特定非営利活動法人  
自立支援センター ふるさとの会  
代表理事 水田 恵  
電話03-3876-8150



### ⑥ 今月のボランティア

今年もおかげさまで無事越年まつりをおえることができました。皆さまがたのおかげと心より御礼申し上げます。

さて、敬老室日曜開放では、特別行事として、毎月第3日曜日に昼食会 & イベントを行っております。今月はみんなでお書初め(!)を行いました。来月も昼食提供を行う予定です(イベントは現在検討中！乞うご期待です)ので、料理自慢の方、是非ボランティア参加をお願いします。

また、コメ、調味料、保存食品などは随時募集しております。

9:30集合で15:00解散の予定です。お問い合わせは以下までお願い申し上げます。

<連絡先>

城北労働・福祉センター分館『敬老室』

03-3801-0377（担当：町田）

メールアドレス：[boranteahurusato@gmail.com](mailto:boranteahurusato@gmail.com)

ふるさとの会ホームページも更新中！ぜひご覧下さい

<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>

発行元：特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6

TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950